



2023 会 告 No.7

◇通知・案内事項

- 化学工学会第54回秋季大会 参加募集…………… 本号7ページ
- 「化学工学技士(基礎)」試験 案内…………… 本号9ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2023)	(2024)
◇年会		
◇秋季大会	9/11～13(福岡大学)	3/18～20(大阪公立大学)
◇支部大会	8/8～9(山形大会)	9/11～13(北海道大学)
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2023年7月 July			
1	第60回化学関連支部合同九州大会(福岡県)		3号12
6	第28講研究開発リーダー実務講座2023-企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは? -(8/3, 9/1, 10/13, 11/2, 12/15)(大阪府)		6号12
6～7	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		4号9
7	第47回 基礎化学工学演習講座(第1クール)(7/7, 10)(オンライン)		4号17
7	第8回ソフトマター工学分科会講演会(東京都)		5号10
10	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(東京都)	7月3日(月)	4号13
12	第13回ホットな話題の講演会「分離プロセスの革新によるカーボンニュートラルへの貢献の 現状と今後の展開」(東京都/オンライン)	7月5日(水)	本号12
13～14	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(東京都/オンライン)	7月6日(木)	4号14
14	先端技術を支える単位操作シリーズ 「バイオマス資源からの有用化学物質変換と高機能化材料創出」(和歌山県/オンライン)	7月14日(金)	6号11
14	2023年度ぶんせき講習会(実践編)第68回機器による分析化学講習会 ～蛍光X線分析法による液体試料の微量金属元素分析～(大阪府)	7月7日(金)	6号12
14～15	第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会(鹿児島県)		5号13
19～21	第47回 基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)		4号17
19～8/10	第54回化学工学の基礎講習会(福岡県)		6号12
25	「発酵・培養技術の基礎と実践 ～乳酸菌の発酵・培養を題材にした課題解決の考え方～」講座 (7/25, 26, 8/1, 2)(オンライン)	7月18日(火)	4号14
27～28	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性・蒸留計算 編(オンライン)	7月21日(金) 9:00	4号8
31	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性・蒸留計算 編:オプション(東京都)	7月27日(木)	4号8
2023年8月 August			
2～4	第47回 基礎化学工学演習講座(第3クール:1日単位・ライブ配信) (8/2～4, 7～10, 21～22)(オンライン)		5号11
8～9	化学工学会山形大会2023(3支部合同大会)(山形県)		4号16
19	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(木)	5号8
22	オンライン版「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座 (8/22, 24, 29, 31)(オンライン)	8月14日(月)	4号14
25～26	第49回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代のビジョンを示せ!～」 東海セッション(愛知県)		6号9
27	Chemical-Energy-Car Competition 2023(オンライン)	7月20日(木)	5号9

2023年9月 September			
4～19	基礎化学工学講座(第3回)[反応工学編](オンライン)	8月18日(金)	本号13
7	オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(9/7, 8, 12, 13) (オンライン)	8月30日(水)	6号10
7	第47回 基礎化学工学演習講座(実験クール)「攪拌槽内の混合現象の可視化」(愛知県)	8月31日(木)	本号13
11～13	化学工学会第54回秋季大会(福岡県)		本号7
29～30	第49回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代のビジョンを示せ!～」 習志野セッション(千葉県)		6号9
30	化学工学技士(基礎)試験(北海道、宮城県、群馬県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、 京都府、大阪府、岡山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、鹿児島県の予定)	8月31日(木) 13:00	本号9
2023年10月 October			
5～6	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)	9月27日(水)	本号10
10～11	入門触媒科学セミナー(大阪府)	9月14日(木)	本号14
12～13	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	10月4日(水)	本号10
14	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		5号9
27～28	第49回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代のビジョンを示せ!～」 関西セッション(兵庫県)		6号9
2023年11月 November			
2	「Pythonで気軽に化学工学 ～データ解析・機械学習入門～」講座(11/2, 16, 17)(東京都)	10月26日(木)	4号15
8～10	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	10月31日(火)	本号11
9～10	奄美大島ワークショップーSDGsのものづくりを考えるー(鹿児島県)	9月29日(金)	本号14
20～22	「P&IDの作り方」講座(東京都)	11月10日(金)	本号11
24～25	第49回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代のビジョンを示せ!～」 幕張セッション(千葉県)		6号9
27～28	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計編(千葉県)	10月27日(金)	本号12
2023年12月 December			
7～8	関西支部・中国四国支部合同 支部大会「福井大会2023」(福井県)		6号12

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
8月14～18日	The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17) (第17回国際伝熱会議)(Cape Town, South Africa)		10号12
9月8～10日	令和5年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部80周年記念国際会議 (宮城県)		4号16
12月1～2日	International Symposium on Chemical Engineering 2023 (第34回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2023)(韓国慶州)	7月31日(月)	5号13

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2023年度化学人材育成プログラム(東京都 他)	4月1日～ 2024年3月31日 (土～日)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
熱測定オンライン講習会2023(オンライン)	6月15日～ 7月28日(木～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/2023onlinelecture/

レオロジー講座・基礎編2023年(東京都)	7月3日(月)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
The 7th International Symposium on Fuels and Energy (ISFE2023) (広島県/オンライン)	7月3~4日(月~火)	広島大学エネルギー超高度利用研究拠点	082-424-5762 (082-422-7193) bprc@hiroshima-u.ac.jp https://symposium2023.isfe.hiroshima-u.ac.jp/
第70回粉体入門セミナーⅢ(東京都)	7月5~6日(水~木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/
第60回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月5~7日(水~金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第183回講演会(オンライン)	7月6日(木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
燃焼の基礎に関する講習会(東京都)	7月6~29日(木~土)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) 2023nensho@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/917/
IFAC World Congress 2023(神奈川県)	7月9~14日(日~金)	一般社団法人 自動制御協議会/日本学術会議(IFAC JAPAN NMO) ※申請中	045-221-2155 ifac2023@congre.co.jp https://www.ifac2023.org/
International Congress on Membranes & Membrane Processes 2023 (ICOM2023) (千葉県)	7月9~14日(日~金)	日本膜学会	03-6892-5104 (03-6892-1830) icom_2023@nta.co.jp http://icom2023.jp/
腐食防食部門委員会第349回例会(大阪府)	7月11日(火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
(一社)日本高圧力技術協会主催 オンライン技術セミナー「材料の損傷・破壊の基礎知識とその適用」(オンライン)	7月13~14日(木~金)	(一社)日本高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/7#frame-43
第10回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都/オンライン)	7月14日(金)	公益社団法人日本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2023@pacmice.jp https://dx-mice.jp/EZEntry/basic-lecture2023/Entry
第34回キャタリススクール(東京都)	7月19~21日(水~金)	一般社団法人触媒学会	070-4836-5469 catalyschool@sec-informations.net https://catsj.jp/event/14508
第61回触媒研究懇談会(福岡県)	7月21~22日(金~土)	触媒学会西日本支部	092-871-6631 jkubota@fukuoka-u.ac.jp https://catsj.jp/wp/wp-content/uploads/2023/04/5fa247cbc4e314992a52a11b5199f872.pdf
第33回環境工学総合シンポジウム2023(島根県)	7月25日(火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2023@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml
環境工学国際ワークショップ2023(島根県)	7月25~28日(火~金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2023@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2023(東京都)	7月26～28日 (水～金)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/exhibit/index.html
第57回技術討論会(鹿児島県)	7月27～28日 (木～金)	一般社団法人粉体 工学会	075-351-2318 (075-352-8530) office@sptj.jp http://www.sptj.jp/event/tech/
第91回技術セミナー(東京都)	7月28日(金)	公益社団法人腐食 防食学会	03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/91.html
第26回IUPAC化学熱力学国際会議 ICCT-2023(大阪府)	7月30日～8月4日 (日～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com https://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/lab/micro/ICCT2023/index.html
第141回学術講演会 —湿式法による貴金属の分離・回収技術に関する最近の 動向—(大阪府)	8月3日(木)	一般社団法人環境 資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) info@rpsj.org https://www.rpsj.org/G141/
2023年度静電気学会講習会 「半導体デバイスの静電気対策(応用編)」(オンライン)	8月3日(木)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://www.iesj.org/
第32回日本エネルギー学会大会(福岡県)	8月8～9日(火～水)	一般社団法人日本 エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai32sanka@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/895/
第51回可視化情報シンポジウム(北海道)	8月8～10日 (火～木)	一般社団可視化情 報学会	03-5993-5020 (03-5993-5026) office@vsj.jp https://www.vsj.jp/symp2023/
表面分析実践講座 2023(東京都)	8月9～10日 (水～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?eid=00016
第72回粉体技術専門講座～晶析操作に関わる先端技術～ (千葉県)	8月23～24日 (水～木)	一般社団法人日本 粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
日本混相流学会混相流シンポジウム 2023(北海道)	8月24～26日 (木～土)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2023/
日本保全学会「第19回学術講演会」(宮城県／オンライン)	8月27～30日 (日～水)	日本保全学会	03-5814-5430 (03-5814-6705) secretariat@jsm.or.jp https://jsm-conference.com
第12回環境放射能除染研究発表会(福島県／オンライン)	8月30～31日 (水～木)	一般社団法人環境 放射能とその除 染・中間貯蔵およ び環境再生のため の学会	029-886-9227 (029-886-9228) 12th-conf@khjosen.org https://khjosen.smoosy.atlas.jp/ja/kenkyu12
第40回エアロゾル科学・技術研究討論会(群馬県)	8月30日～9月1日 (水～金)	日本エアロゾル学 会	(03-5227-8632) jaast-touron@conf.bunken.co.jp https://www.jaast.jp/new/home-j.html
第184回講演会(東京都)	8月31日(木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp

第40回センシングフォーラム 計測部門大会(高知県)	8月31日～9月1日 (木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf40.html
第60回炭素材料夏季セミナー(長崎県)	9月4～5日(月～火)	炭素材料学会 次世代の会	095-819-2668 urita@nagasaki-u.ac.jp https://sites.google.com/view/60th-css/
第7回ソフトマター国際会議 (ISMC2023) (大阪府)	9月4～8日(月～金)	ソフトマター国際会議 2023 組織委員会	075-383-2661 ryoichi@cheme.kyoto-u.ac.jp https://ismc2023.jp
第39回ファジィシステムシンポジウム (FSS2023) (長野県)	9月5～7日(火～木)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2023_committee@j-soft.org https://soft-cr.org/fss/2023/
2023年度工学教育研究講演会(広島県)	9月6～8日(水～金)	日本工学教育協会, 中国・四国工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2023_jsee_conference@jsee.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2023/top
腐食防食部門委員会第350回例会(大阪府)	9月11日(月)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
PHMAP23 (Asia Pacific Conference of the Prognostics and Health Management Society 2023) (東京都)	9月11～14日 (月～木)	日本航空宇宙学会, PHM Society	075-753-3367 secretariat@phmap.jp https://phmap.jp/
第48回コロージョン・セミナー(新潟県)	9月13～15日 (水～金)	公益社団法人腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/48.html
第27回動力・エネルギー技術シンポジウム(東京都)	9月20～21日 (水～木)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) izawa@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/pes27/index.html
Asian Symposium on Contamination Control 2023 (石川県)	9月20～22日 (水～金)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) ascc2023@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp/
日本流体力学会 年会2023(東京都)	9月20～22日 (水～金)	一般社団法人 日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) info@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2023/
SPring-8シンポジウム2023(大阪府／オンライン)	9月26～27日 (火～水)	SPring-8ユーザー協同体 (SPRUC) 理化学研究所 放射光科学研究センター 高輝度光科学研究センター (JASRI) (予定) 大阪大学	0791-58-2785 (0791-58-2786) sp8sympo2023@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2023/sp8sympo2023/
第9回材料WEEK(京都府)	10月10～13日 (火～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
POWTEX2023 国際粉体工業展大阪2023 (大阪府／オンライン)	10月11～13日 (水～金)／ オンライン 9月27日～11月10日 (水～金)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2023@powtex.com https://www.powtex.com/osaka/
第42回電子材料シンポジウム (EMS-42) (奈良県)	10月11～13日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	045-339-3369 ems42-query@ems.jpn.org https://ems.jpn.org

熱工学コンファレンス2023(兵庫県)	10月14～15日 (土～日)	一般社団法人 日本機械学会	03-4335-7612 (03-4335-7618) miyata@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf23/index.html
第71回レオロジー討論会(愛媛県)	10月19～20日 (木～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第70回材料と環境討論会(東京都)	10月30日～ 11月1日(月～水)	公益社団法人腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/70.html
The 12th International Conference on Separation Science and Technology (ICSST23 分離技術国際会議)(沖縄県)	11月15～17日 (水～金)	分離技術会	044-935-2578 (044-935-2571) jim@sspej.gr.jp https://icsst2023.sspej.org/
高温強度・破壊力学合同シンポジウム(新潟県)	11月16～18日 (木～土)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jim@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
EcoDesign2023 国際会議 (13th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(奈良県)	11月29日～ 12月1日(水～金)	エコデザイン学会連合	06-6879-7260 ecodesign2023_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2023/
第44回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2023)(愛知県)	11月21～22日 (火～水)	第44回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2023@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2023/
第50回炭素材料学会(宮城県)	11月29日～ 12月1日(水～金)	炭素材料学会	03-6824-9365 tanso-desk@conf.bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2023/index.html (予定)
第7回アジア革新的エネルギー・環境化学工学会議(ASCON-IEEChE2023)(韓国江原道)	12月4～7日 (月～木)	Korean Institute of Chemical Engineers (KIChE)	(+82)-2-458-3078 office@ascon2023.org http://www.ascon2023.org/
第37回数値流体力学シンポジウム(愛知県)	12月15～17日 (金～日)	日本流体力学学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd37@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd37/
ISPlasma2024/IC-PLANTS2024/APSPT-13(愛知県)	2024年3月3～7日 (日～木)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2024_apspt-13@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
The Second Symposium on Carbon Ultimate Utilization Technologies for the Global Environment(CUUTE-2)(奈良県)	2024年11月 12～15日(火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-3669-5932 ryo@isij.or.jp https://cuute2.com/

化学工学会第54回秋季大会 参加募集

会場：福岡大学 七隈キャンパス(〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1)
※口頭セッションはオンライン参加(発表・聴講)を可能とする予定です。
会期：2023年9月11日(月)～9月13日(水)
(特別シンポジウムSP-1は会期前日9月10日(日)実施)

懇親会会場：福岡大学 七隈キャンパス内

懇親会日時：2023年9月12日(火)夕刻(予定)

参加登録期間：第一期 2023年7月3日(月)～7月26日(水)23:59
第二期 2023年7月27日(木)～8月9日(水)23:59
第三期(含む当日) 2023年8月10日(木)～9月13日(水)12:00

大会WebサイトURL：<https://www4.scej.org/meeting/54f/>

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

※本記事記載の各事項は変更される可能性があります。最新情報は大会webサイトにてご確認ください。

化学工学会第54回秋季大会は、2023年9月11日(月)～13日(水)の3日間、福岡大学七隈キャンパスにおいて開催されます。懇親会も開催を予定しています。(口頭セッションはオンライン参加を可能とする予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)

本大会では、参加登録期間が3つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお祈りします。

「化学工学ビジョンシンポジウム」、「特別シンポジウム」をはじめとする各種企画については、本号記事「第54回秋季大会のご案内」をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、オンライン開催を基本とし、口頭セッションについてはオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とする予定です。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第54回秋季大会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

懇親会

会場(福岡大学七隈キャンパス)内にて、会期2日目9月12日(火)夕刻(予定)に開催します。奮ってご参加ください。現時点では立食方式を予定していますが、原則予約制とし、当日受付を実施しない可能性があります。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

参加登録期間は以下の3つです。

第一期 7月3日(月)～7月26日(水)23:59まで
第二期 7月27日(木)～8月9日(水)23:59まで

(水)23:59まで
第三期(含む当日) 8月10日(木)～9月13日(水)12:00まで

注意事項

◇大会会場(福岡大学)ご来場予定の調査について
準備の都合上、参加登録時点における、オンライン会場(福岡)ご来場予定をお尋ねします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後ご予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期では当日参加料金より大会参加費が2,000円お安くなります(会員外の方の大会参加費のみ更に3,000円お安くなります)。第二期および第三期では当日参加料金と同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子の申込みができません。加えて講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。是非、第一期および第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施しません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けていますので、そちらをご利用ください。

懇親会の参加登録および参加費については大会webサイトをご参照ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期1週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内しますので、そちらに従ってお手続きをお願いします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認します。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。

参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただきしてからweb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格にて参加登録される方は、本会2023年度(2023年3月～2024年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みによらず、第二期締切日(2023年8月9日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開します。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。第三期に参加登録された方へのお知らせは、大会直前となり、事前閲覧はできません。

本大会の講演要旨公開は、2023年8月28日(月)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は別売りです(2,200円/部)。第一期および第二期の参加登録時に購入いただければ、郵送します。会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期の参加登録では購入できません。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
 京王観光(株)東京第1支店
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
 化学工学会 運営サポートチーム
 TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
 E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
 営業時間 平日 10:00～17:00

◇その他に関するお問合せ
 化学工学会 第54回秋季大会 実行委員会
 E-mail: inquiry-54f@www4.scej.org

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売します(大会参加者: 3,300円/個)。大会参加費には含まれていませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送します。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわ

ず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にwebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しています。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売)や講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (7/3～7/26)	第二期 (7/27～8/9)	第三期 (8/10～当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	5,000円	7,000円	7,000円	
海外正会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外連携会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員(*1)に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	不課税
懇話会会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会個人賛助会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	16,000円	18,000円	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	13,000円	15,000円	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	7,000円	7,000円	
(*2)AIChE: 米国化学工学会, CIESC: 中国化工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, IICHe: インド化学工学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwIChE: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
上記以外の方				
会員外	28,000円	33,000円	33,000円	課税税込

懇親会参加費

大会webサイトをご確認ください。

講演プログラム集冊子

会員資格	講演プログラム集冊子			備考
	第一期 (7/3～7/26)	第二期 (7/27～8/9)	第三期 (8/10～当日)	
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	2,200円/部	不可	税込 送料込
本会非会員				

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	講演要旨集(USBメモリ)		備考
	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入	
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個	12,100円/個	税込 送料込
本会非会員		23,100円/個	

「化学工学技士(基礎)」試験 案内

試験申込期間：2023年7月21日(金)～8月31日(木) 13:00 厳守

試験日時：2023年9月30日(土)12:45～16:45

試験会場：調整中。詳細は試験申込Webサイトでご確認下さい。

(参考) 2022年会場地：札幌、仙台、桐生、東京、名古屋、京都、大阪、徳島、岡山、東広島、宇部、福岡、鹿児島

合格発表：2023年11月中

「化学工学技士(基礎)」資格は、化学工学の基礎知識に関する筆記試験を行った上で、化学工学に関連した専門的応用に関する業務に携わるための十分な化学工学基礎知識を有していることを、化学工学会が認定する資格です。技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期間(8年)を設けています。

受験資格は問いませんので、多くの方が受験されることを期待いたします。

なお、Webサイトから受験申込をする際に、Webサイトよりダウンロードした「化学工学技士(基礎) 受験本人確認書」を併せて送付して頂きます。受験者の写真貼付が必要になりますので、申込前にご用意下さい。

また、会員資格での受験申込には、入会申込登録が完了し、かつ、年会費の支払いが完了している必要があります。受験申込前に入会を予定している方は、お早めに入会手続きをして下さい。

入会申込Webサイトから入会申込をすると、入力したメールアドレス宛に「公益社団法人化学工学会 入会申込 確認メール」が届きますので、1時間以内にメール本文の登録用URLをクリックして登録手続きを完了して下さい(1時間以上経過した場合は無効になりますので入会申込の入力からやり直して下さい)。なお、大学3年生以下および高専本科生と専攻科1年はジュニア会員に該当します。

登録が完了した方はマイページでのクレジットカード決済、または郵送される会費払込取扱票で郵便局またはコンビニでお支払い下さい。クレジットカード決済は即日入金確認になるので是非ご活用下さい。入会登録完了時に送信されたIDとPWでマイページにログイン後、会員メニューの「請求入金情報・クレジット決済」に進んで「未入金確認・お支払い」ページの下部の「クレジット決済を行う」ボタンから決済して下さい。(郵便局の場合、手続日から入金確認ができるまでに3日～1週間を要します。コンビニの場合、更に1～2週間を要する場合がありますのでご注意ください)

入金確認が完了すると、「化学工学技士(基礎)」への申込ができるようになります。入金確認状況はマイページにログインしてご確認できます。会員メニューから「請求入金情報・クレジット決済」情報に進んで「請求履歴」ページで、2023年度の入金済金額に金額が入っていれば年会費の支払い手続きが完了しており、受験申込がで

きる状態です。2023年度の入金済金額が0の場合は入金確認が完了しておりません。

資格取得のメリット

1. 化学工学に関する基礎知識・能力を持つていることを強くアピールでき、学生の場合は就活を有利に展開することが可能です^{*1)}。
2. 化学工学技士試験までの一定期間、一部の講座を割引価格で受講できます。
3. 「知的生産性を高めるチームづくり」講座を割引価格で受講できます。
4. 化学工学技士受験までの一定期間、一部の講座を割引価格で受講できます^{*2)}。
5. 企業で活躍されている方々も「技術者の健康診断」として活用することができます。

※1) 毎年、企業への周知活動を行っており、社内教育に活用される企業も増えていきます。

※2) 個人正会員は受験料【16,500円→8,800円[消費税10%込]】、会員外の方は受験料【29,700円→22,000円[消費税10%込]】(2023年度)。

※3) 継続教育セミナーの「プロセス設計」講座の化工物性、蒸留計算 編、塔・槽、熱交換器の設計 編、ハイドロリックの設計 編、プロセス基本制御とPFD作成 編、「反応器の設計」講座、「プラント計装制御-1」講座の6講座では、化学工学技士(基礎)資格保有者を対象に、正会員の半額で受講できる「技士基礎割引」を実施しています。(2023年度)

但し、「技士基礎割引」は、以下の条件を満たす方が対象となります。

- ①化学工学技士(基礎)試験に関する手続きを完了していること。
- ②正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認し、登録内容を更新して下さい)
- ③卒業または修了後5年以内の社会人であること。入社後に技士(基礎)を取得された社会人も対象となります。

参考図書 次の図書などを参考にして学習して下さい。

- ・「解説化学工学 改訂版」(培風館)
- ・「改訂新版 化学工学通論 I」(朝倉書店)
- ・「化学工学 改訂第3版-解説と演習- 化学工学会 監修」(朝倉書店)
- ・「化学工学概論」(産業図書)
- ・「技術者のための化学工学の基礎と実践 化学

- 工学会編」(アグネ承風社)
- ・「基礎化学工学」(共立出版)
- ・「基礎化学工学 化学工学会編」(培風館)
- ・「基礎からの化学工学」(東京化学同人)
- ・「現代化学工学」(産業図書)
- ・「実例で学ぶ化学工学 課題解決のためのアプローチ 化学工学会教科書委員会編」(丸善出版)
- ・「新版 化学工学の基礎」(朝倉書店)
- ・「はじめての化学工学 化学工学会高等教育委員会編」(丸善出版)
- ・「はじめて学ぶ化学工学」(丸善出版)
- ・「標準化学工学」(化学同人)
- ・「標準化学工学Ⅰ-収支・流体・伝熱・平衡分離-」(朝倉書店)
- ・「標準化学工学Ⅱ-反応・制御・速度差分離-」(朝倉書店)
- ・「ベーシック化学工学」(化学同人)
- ※その他、会誌79巻1号に掲載された教科書一覧(pp.45-49)もご参考にして下さい。会員専用ページの電子図書館をご利用下さい。

受験料(消費税10%込)

	受験資格	受験料
学生	会員	3,300円(本体3,000円)
	会員以外	11,000円(本体10,000円)
社会人	個人会員	8,800円(本体8,000円)
	個人会員以外	22,000円(本体20,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ (<https://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より「資格 申込・更新案内」Webサイト (https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)に入り、「2023年化学工学技士(基礎) 申込受付」を選択し、お申し込み下さい。申込後、払込取扱票をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払い下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「化学工学技士(基礎)」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

人材育成センター

「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編 (改定第7回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

本講座では、中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき、更に流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んで頂きます。

日時 2023年10月5日(木)～6日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方
・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方
・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(3～5年程度の経験者)
・「P&IDの作り方」講座 受講予定者
・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者
・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1) 化工物性、蒸留計算編(7月、1月の年2回)、塔・槽、熱交換器の設計編(5月、9月の年2回)、ハイドロリックの設計編(6月、11月の年2回)と共に本編を受講することでプロセス設計の真髄を習得できます。
- (2) 「P&IDの作り方」講座(6月、11月の年2回)を受講する前の事前学習として有効です。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：10月5日(木)13:00～17:00

諸連絡(13:00～13:05)

12. 蒸留塔周りの制御(13:05～15:25)

蒸留塔周りの制御の基本概念、圧力維持制御を考える、物質収支のための制御、熱収支のための制御、プロダクト品質のための制御、典型的な制御の例

13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)(15:35～17:00)

コンプレッサー、ポンプ、熱交換器

第2日：10月6日(金)9:30～16:30

13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)つづき(9:30～10:25)

並列ループへの流量配分

14. PFD作成実習(10:35～12:30 & 13:30～14:25)

PFDの目的、PFDに記載する内容、PFDの記号の書式、PFDの書式、実習

15. 計装・制御についての補足事項(14:35～16:30)

P&IDに表示されるべき項目、設備・機器の性能把握、装置のマクロ指標、異常検知のためのアラーム、安全対策

講師 経験豊富なエンジニア

永野健一郎氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部、上席化学工学技士、技術士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に

復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 9月27日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員(技士基礎割*)

個人正会員 16,500円(本体15,000円)

個人正会員 33,000円(本体30,000円)

維持会員/特別会員の社員

41,250円(本体37,500円)

地区会員の社員 49,500円(本体45,000円)

会員外 57,750円(本体52,500円)

*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. (開催日に)卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「レイアウトとプロットプランの 考え方」講座(第27回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

レイアウトの基礎概念、考え方とプロットプランの決め方などについて解説し、新規や既存プラントのレイアウトやプロットプランの根底にある考え方を学んで頂き、更に簡単な演習によって理解を深めて頂きます。また、エンジニア会社とユーザーである化学メーカーとの考え方の相違点を理解して頂きます。

日時 2023年10月12日(木)～13日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

・レイアウトやプロットプランを考えなければならぬ人

・プロジェクトエンジニア、配管エンジニア、プラントエンジニア、プロセスエンジニアなどで5～7年の実務経験のある人(ある程度プラントに関する知識を持っている人)

受講のメリット

(1) レイアウトとプロットプランの基本的考え方

を学べます。

(2) レイアウトとプロットプランを決める上で必要な法律・規格・基準の相互関係を理解できます。

(3) レイアウトとプロットプラン作成上のノウハウを取得できます。

(4) エンジニアリング会社と化学メーカーとの考え方を理解できます。

(5) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

(6) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：10月12日(木)9:55～17:00

諸連絡(9:55～10:00)

レイアウト作成のための基礎知識(10:00～12:30 & 13:30～15:00)

敷地条件、気象条件、ユーティリティ条件、工場設備、付帯設備、レイアウトに関する法律、レイアウトの評価

レイアウト演習(15:00～17:00)

第2日：10月13日(金)9:30～16:30

プロットプラン作成のための基礎知識(9:30～12:30)

機器配置の基本形態、機器配置の基本思想、プロットプランの必要資料、プロットプラン計画時の考慮事項、水切りから据付まで、プロットプランに関する法的規制

プロットプラン演習(13:30～16:30)

講師 経験豊富なエンジニア陣

浅野健治氏(浅野生産革新攪拌研究所、上席化学工学技士)

木村 修氏(工業化技術・教育支援事務所代表、元宇部興産(株))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 10月4日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「プラント計装制御-1」講座 (改訂第4回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

若手プロセスエンジニアおよび計装制御エンジニアが、プロセスプラントのプロセス改造、新設時に知っておくべき、プロセスプラントで求められるプラント計装・制御の基礎を学んで頂きます。また、今後プロセスプラントの中堅エンジニアとして活躍するために必要なプラント計装・制御の基礎技術を再整理して頂きます。

日時 2023年11月8日(水)～10日(金)

場所 化学工学会会談室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)
横河電機(株)デモルーム/トレーニングセンター(JR三鷹駅(東京駅から中央線特別快速30分、快速37分)下車徒歩7分)
〒180-8750 武蔵野市中町2-9-32
<https://www.yokogawa.co.jp/about/yjp/about-us/company-branch/>

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(2～5年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(2～3年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1)プラント制御・計装の基本を理解できます。
- (2)計装設計の基本、制御方式選定の基礎を習得できます。
- (3)横河電機殿のご協力により、デモルームにてDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性を、トレーニングセンターにてDCSを使った制御操作実習を体験できます。
- (4)講義と実習により、DCSと安全計装への理解が深まります。
- (5)適切な制御ループ構成を組むことができるようになります。
- (6)最新のプラント情報システムについて学べます。
- (7)本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (8)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：11月8日(水)9:55～17:30 於：化学工学会会談室
諸連絡(9:55～10:00)

1. プラント計装制御概論(10:00～10:55；赤城氏)
 2. DCSの機能と設計(11:05～12:30；赤城氏)
 3. プロセス計測操作端(13:15～15:55；武用氏)
計装システムの構成、流量、液面計測器、温度・圧力計測器、分析計、調節弁
 4. 安全計装(16:05～17:30；竹内氏)
- 第2日：11月9日(木)9:00～16:00 於：横河電機デモルーム/トレーニングセンター
5. デモルームでのDCSの操作の概要とDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性(9:00～10:20；秦氏)
 6. トレーニングセンターでのCENTUMを使った制御操作実習(10:40～16:00；横山氏)

- (1)バッチ制御
- (2)連続制御
- (3)比率制御
- (4)定量仕込制御
- (5)プログラム制御
- (6)PID制御

第3日：11月10日(金)9:30～16:30 於：化学工学会会談室

7. 標準的なプロセス制御ループ事例(9:30～

12:00；小瀧氏)

8. プラントワイド制御ループ構成の考え方(13:00～15:25；矢野氏)
9. プラント情報システム(15:35～17:00；平井氏)

講師 経験豊富なエンジニア

赤城範方氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)

武用吉史氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)

竹内陽祐氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)

秦 彰宏氏(横河ソリューションサービス(株)インダストリー統括本部 グローバルプラントセンター 技術部)

横山 敬氏(横河ソリューションサービス(株)トレーニングセンター)

小瀧喜明氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)

矢野尚貴氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)

中村和仁氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター 電気計装システム部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15 ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 10月31日(火)

受講料(消費税10%込)

個人正会員(技工基礎割*)	49,500円(本体45,000円)
個人正会員	71,500円(本体65,000円)
維持会員/特別会員の社員	88,000円(本体80,000円)
地区会員の社員	104,500円(本体95,000円)
会員外	121,000円(本体110,000円)

*技工基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. (開催日に)卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。
<https://service.kkctcs.co.jp/srms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「P&IDの作り方」講座(第29回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

P&IDを取り扱う初心者を対象に、P&IDに使用される機器、配管、計装関連の記号とその意味、配管関係、計装関係、機器周りのP&IDとその作成方法等を、部分から全体へ、事例と実習を活用しながら学習して頂きます。更に、実際のプラントの実例に則してP&IDの作成実習を行います。

日時 2023年11月20日(月)～22日(水)

場所 化学工学会会談室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・P&IDを読む、あるいは作成する必要がある人
- ・プロセス設計技術者、プロジェクトエンジニアなど(3～5年程度の実務経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者

受講のメリット

- (1)複雑に見えるP&IDに何が書いてあるのか分かるようになります。
- (2)P&IDに書かれていることの意味を理解できるようになります。
- (3)PFDからP&IDを書く演習を通して、自分でP&IDを描くことができます。
- (4)P&ID作成のノウハウを習得できます。
- (5)本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6)修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：11月20日(月)9:55～17:00
(9:55～10:00)諸連絡
(10:00～13:00)水沼氏

1. P&IDとは
2. P&IDの読み方
3. 配管関係のP&ID表示
(14:00～17:00)小山氏
4. 計装関連のP&ID表示
5. 機器まわりのP&ID表示

第2日：11月21日(火)

6. P&ID作成実習(9:30～17:30)能村氏、永淵氏
蒸留塔を例にとり、PFDからP&IDを作成する演習
扱う物質が固結性物質とスラリー流体の場合のP&ID作成演習

第3日：11月22日(水)

7. P&ID作成実習解説(9:30～12:30)水沼氏
 8. 運転とP&ID(13:30～16:30)日比野氏
- *P&ID作成実習を行いますので、シャープペンと消しゴムをご用意下さい。

講師 千代田化工建設(株)、東洋エンジニアリング(株)、日揮(株)の経験豊富なエンジニア
水沼栄太郎氏(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメント部P&ID設計セクション)
小山武志氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部 グループリダー)
能村 隆氏(テックプロジェクトサービス(株)設計本部 設備設計部 副部長)
永淵正敬氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング・技術統括本部 プロセスエンジニアリング部)
日比野毅氏(日揮グローバル(株)エネルギーソリューションズ エネルギートランジション本部 スタートアップ&オペレーションサービス部 コミッショニング担当マネージャー)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15 ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 11月10日(金)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 66,000円(本体60,000円)
維持会員/特別会員の社員

82,500円(本体75,000円)

地区会員の社員 99,000円(本体90,000円)

会員外 115,500円(本体105,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編 (改定第12回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

本講座では、ハイドロリック設計に関するプロセス設計の基礎について、講義では演習問題を手計算で解きながら学び、さらに実習で理解を深めて頂きます。

日時 2023年11月27日(月)～28日(火)

場所 出光興産(株)技術研修センター
(TEL: 0436-61-7841)
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸26(JR内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

受講のメリット

- (1) ハイドロリックの計算原理、圧力損失計算、配管サイズの決め方、ポンプの基礎を学べます。
- (2) ベルヌーイ実証実験、流動実験、ポンプキャビテーション実験、水撃実験などの実習で学べます。
- (3) 展示室のポンプ、コンプレッサー、制御弁、バルブのカットモデルを見学でき、その内部構造を学べます。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日: 11月27日(月)9:00～16:30

諸連絡(9:00～9:10)

9. ハイドロリックの設計、設計演習(9:10～16:30)

※昼食後にカットモデル見学(12:30～13:10)

第2日: 11月28日(火)

10. ハイドロリック実習に先立って(9:00～9:10)

11. ハイドロリック実習(9:10～16:15)

※2班に分かれて以下の実験を実施します。

- ベルヌーイ実証実験
- 流動実験
- ポンプキャビテーション実験
- 水撃実験

※2日間の昼食は、本会でご準備致します。

講師 経験豊富なエンジニア

永野健一郎氏(日揮グローバル(株)プロジェクトソリューションズセンター エンジニアリング本部 プロセスエンジニアリング部、上席化学工学技士、技術士)

小山義成氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

溝口高生氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

申込締切 10月27日(金)

受講料(税別)

個人正会員(技士基礎割*)

38,500円(本体35,000円)

個人正会員 49,500円(本体45,000円)

維持会員/特別会員の社員

60,500円(本体55,000円)

地区会員の社員 71,500円(本体65,000円)

会員外 82,500円(本体75,000円)

*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. (開催日に)卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

地域 C T



関 東 支 部

第13回 ホットな話題の講演会 一分離プロセスの革新による カーボンニュートラルへの貢献の 現状と今後の展開

主催 (公社)化学工学会関東支部

協賛 (公社)化学工学会分離プロセス部会、システム・情報・シミュレーション(SIS)部会、開発型企業の会、分離技術会、石油学会、日本エネルギー学会、日本膜学会、日本吸着学会、触媒学会、日本化学会、日本コンピューター化学会、鉄鋼協会

温室効果ガスの削減目標の実現と同時に「3E+S」という日本のエネルギー政策の基本理念を満たすことが求められています。電力部門では、

再生可能エネルギーや水素・アンモニアを使った発電など脱炭素化が迫られています。同時に、火力発電や産業部門などで排出されることが不可避なCO₂を分離回収し、最大限活用することも求められます。一方、化学プロセスで消費されるエネルギーの半分近くは分離工程が占めており、カーボンニュートラル実現のためには分離プロセスの革新が重要です。本講演会では、カーボンニュートラル実現のための分離プロセスにおける膜技術の最先端について研究事例、実用事例を紹介します。更に、AIに関する技術の中心の1つである機械学習の分離膜研究への応用について紹介していただき、膜技術の今後の展開についても紹介します。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2023年7月12日(水)13:00～17:15

開催形式 会場・オンライン併用 ハイブリッド形式
新型コロナウイルスの感染状況により、

オンラインのみに変更する場合がございます。

会場 早稲田大学121号館リサーチイノベーションセンター コマツ100周年記念ホール
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町513
(アクセス)東京メトロ東西線「早稲田」駅下車 徒歩3分

プログラム

1. 13:00～13:05
開会の挨拶
2. 13:05～13:50
「カーボンニュートラルに貢献する分離工学」(早稲田大学)松方正彦氏
3. 13:50～14:35
「二酸化炭素分離回収のための吸着分離プロセス開発」(名古屋大学)川尻喜章氏
4. 14:35～15:05

「ガス分取型VPSAによる高炉ガスCO₂分離および膜反応器を用いたメタノール合成」
(JFEスチール(株))紫垣伸行氏

5. 15:05～15:20

休憩

6. 15:20～16:05

「機械学習による分離膜開発の展望」

(工学院大学)高羽洋充氏

7. 16:05～16:35

総合討論

8. 16:35～16:40

閉会の挨拶

9. 16:45～17:15

講師との交流会(対面参加のみ)

定員 会場50名+オンライン100名

参加方法として会場またはオンラインを選択してお申し込みください。

参加費 正会員9,000円、法人会員・協賛団体会員11,000円、学生会員2,000円、会員外15,000円、サロメンバー5,000円

尚、それぞれの参加費にはテキスト代・消費税が含まれます。

支払方法 受付後、参加証と共にお送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 7月5日(水)までにWebまたはFax、E-mailにてお申し込みください。

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催一覧の「第13回ホットな話題講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax、E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「第13回ホットな話題講演会」と明記し、会社・学校名、参加者名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無、参加方法(会場orオンライン)をご記入の上お送りください。

申込先 公益社団法人化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org

東海支部

第47回 基礎化学工学演習講座 (実験クール)

「攪拌槽内の混合現象の可視化」

主催 (公社)化学工学会東海支部

共催(予定) 静岡化学工学懇話会ほか

協賛(予定) (一社)電気学会東海支部ほか

昨今では、AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが、化学工学の理論との整合性を踏まえて実装する必要があります。また、高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は、益々重要となっております。

本講習会では、化学工学における単位操作として重要な攪拌・混合を題材に、攪拌槽内における混合現象を可視化によって実験的に体験できるクールを用意しました。プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機

会がなかった初心者の方、更に専門的な知識を習得したい技術者の方まで、ぜひ受講をご検討ください。

日時 2023年9月7日(木)10:00～15:00

(昼食休憩:12:00～13:00)

場所 名古屋工業大学 1号館4階 攪拌実験室
(JR中央線・名古屋市営地下鉄鶴舞線の鶴舞駅より東へ徒歩約10分)

<https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

対象 若手・中堅の技術者の方で、特に化学工学における実験・実技の経験を深めたい方。攪拌槽内における流動現象のイメージを実感として掴みたい方。初めて化学工学を学びたい方。初めてプラント設計、運転に携わる方。高卒程度の知識がある方。攪拌層内で生じる混合現象を可視化により体感します。

実験内容

- ・低粘度流体における邪魔板効果の観察
- ・高粘度流体に発生するドーナツリング現象の観察
- ・攪拌翼の性能比較
- ・攪拌槽内における流脈の観察

講師 名古屋工業大学 生命・応用化学科 教授
加藤禎人氏

定員 10名(1社からの同時ご参加人数について、別途ご相談申し上げます。申込者数が最少催行者数に到達しない場合は開催しない場合がございます。その場合、お支払い済みの参加費は返金いたします。)

会員特典 化学工学会正会員、ならびに法人会員会社社員の方は、本講座の受講者に限り、テキストを特別販売いたします。

*テキスト:『化学工学 改訂第3版』(朝倉書店)税込2,750円→1,000円

テキストをお持ちでない場合は、参加費にテキスト代を加えてお申し込み下さい。

参加の際の注意

筆記用具、ノートのほか、関数電卓、定規を使用する場合がございますのでご用意下さい。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申し込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

申込締切 2023年8月31日(木)

参加費(消費税を含む)

化学工学会正会員	15,000円
化学工学会法人会員会社社員	20,000円
共催・協賛団体会員	25,000円
会員外	50,000円

送金方法 現金書留または銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521

「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

「公益社団法人化学工学会東海支部」

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

<http://scej-tokai.org/>

TEL: 080-4525-3070

関西支部

基礎化学工学講座(第3回) [反応工学編]

主催 化学工学会関西支部

化学工学会関西支部では、2001年より実践化学工学講座を開講し、1日で化学工学の1つの単位操作や分野を学習する機会を提供してまいりました。ご好評いただき、これまで多くの方々を受講いただきましたが、もっと基礎からじっくり学びたいのご意見もいただいております。初めて化学工学を学ぶ方や基礎から化学工学を学び直したい方を対象として、基礎化学工学講座を開講いたします。特に、化学工学で重要な科目の一つである「反応工学」の基礎を4講開講し、基礎をしっかりと学んでいただきます。是非ご利用下さいませようご案内申し上げます。

日時 リアルタイム講義(毎講18:00～19:00)

2023年9月4日(月)、8日(金)、14日(木)、19日(火)<全4講>

開催方式 オンデマンドによる講義動画とZoomによるリアルタイム講義を併用

本講座では、毎講、オンデマンドによる講義動画と、Zoomによりリアルタイム講義を併用いたします。オンデマンドによる講義動画は、都合のつく時間に視聴できると共に、理解が困難なところを繰り返し視聴できるという特徴があります。一方、リアルタイムの講義は、理解が困難と感じた時に、即座に質問し、理解できるという特徴があります。オンデマンドによる講義動画を視聴いただいた後に、リアルタイム講義を受講いただき、理解を深めていただきます。

プログラム

第1講 反応速度式(リアルタイム講義:9月4日(月))

反応速度の定義、素反応、定常状態近似、律速段階近似、酵素反応、アレニウスプロット

第2講 反応器の設計方程式(リアルタイム講義:9月8日(金))

回分反応器、連続槽型反応器、管型反応器、定容系、非定容系、設計方程式

第3講 反応速度解析と反応器の基礎設計と操作(リアルタイム講義:9月14日(木))

回分反応器を用いた反応速度解析(微分法、積分法)、最適な反応器の選択、直列連続槽型反応器、自触媒反応の最適操作、半回分反応器

第4講 複合反応、非等温反応、流通反応器の流れ(リアルタイム講義:9月19日(火))

逐次反応、エネルギー収支式、滞留時間分布、拡散混合モデル、槽列モデル、組合せモデル
※テキストは「(改訂増補版)反応工学」(培風館発行、橋本健治著)を使用。(受講者には無料でお渡しします)

講師 大阪公立大学大学院工学研究科 教授

荻野博康氏

定員 15名程度(先着順)

受講料 化学工学会正会員 38,000円、化学工学会法人(懇話会含む)会員 53,000円、会員外 80,000円(消費税、テキスト代を含む)

申込方法 ホームページ (<https://www.kansai-scej.org/topics/4404>)よりお申し込み下さい。

または、「基礎化学工学講座(第3回)[反応工学編]受講申込」と題記の上、(1)氏名、(2)勤務先(所属)、(3)連絡先(所在地、E-mail、TEL)、(4)会員資格、(5)請求書必要/不要を明記の上、お申込下さい。受講料は、銀行振込(りそな銀行 御堂筋支店 普通預金 0405228

「公益社団法人化学工学会関西支部」名義)に送金下さい。(振込手数料はご負担願います)
※受講者には、8月25日頃にテキストを送付し、オンデマンドとリアルタイム講義の視聴方法をご案内いたします。
※講義当日には関数電卓を各自でご準備下さい。

申込締切 8月18日(金)

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4(大阪科学技術センター6F)
公益社団法人化学工学会関西支部
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org

入門触媒科学セミナー

主催 近畿化学協会触媒・表面部会
共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2023年10月10日(火)~11日(水)

会場 大阪科学技術センター7階700号室(大阪市西区鞆本町1-8-4)
(交通)OsakaMetro地下鉄「本町」駅25・28番出口を北へ約7分、うつほ公園北詰

プログラム

[第1日目・10月10日]

1. 開会挨拶

(阪大院基礎工)満留敬人氏

2. 触媒科学の基本概念-これだけは知っておこう-

(関西大環境都市工)池永直樹氏

3. 遷移金属錯体触媒-錯体の基礎と有機合成触媒反応-

(奈良女大院自然)浦康之氏

4. 金属酸化物触媒-多様な触媒機能の宝庫-(京工織大材料化学系)細川三郎氏
交流懇親会(無料)

[第2日目・10月11日]

5. 固体表面の酸・塩基点とその触媒機能

(阪公大ReCAP)田村正純氏

6. 金属ナノ粒子触媒-構造と触媒作用及び設計法-

(阪大院基礎工)満留敬人氏

7. 触媒調製化学-基礎から最近のナノ構造触媒まで-

(阪大院工)桑原泰隆氏

8. 閉会挨拶

(阪大院基礎工)満留敬人氏

定員 90名

参加費 (両日参加)共催団体会員27,000円,近畿化学協会触媒・表面部会法人会員22,000円,一般37,000円,学生6,000円(何れか1日参加)共催団体会員17,000円,触媒・表面部会法人会員12,000円,一般27,000円,学生6,000円(何れも講義資料,消費税含む)

申込方法 HP (<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=26601>)からお申込みの上,参加費を銀行振込(三井住友銀行 備後町支店・普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)にて送金して下さい。振込手数料は参加者でご負担願います。

申込締切 9月14日(木)

問合せ先 近畿化学協会触媒・表面部会
〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail: catal@kinka.or.jp

九州支部

奄美大島ワークショップ -SDGsのもののづくりを考える-

主催 化学工学会九州支部,石油学会九州・沖縄支部

化学工学会九州支部とその関連学会では,支部大会の一環として,「奄美大島ワークショップ」を企画しました。奄美大島は,大島紬や黒糖焼酎など独特のもののづくりや世界自然遺産に登録された生物多様性における保全上で重要な地域であることが国際的にも高く評価されています。このような奄美大島で国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に適うものづくりを考えてみようではありませんか。

奄美大島ワークショップでは,1日目に講演会を行います。講演では,支部推薦講演と共に一般の講演を研究者・技術者・学生の皆様から募集します。奮ってご応募下さい。2日目には奄美黒糖焼酎の酒蔵や奄美大島紬村などを見学します。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2023年11月9日(木)~10日(金)

場所 講演会:奄美観光ホテル
〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL:0997-52-2221
しまバス「港町」乗り場から徒歩1分
見学会:奄美黒糖焼酎の酒蔵・奄美大島紬村など
追加情報は化学工学会九州支部のホームページに掲載しますので,随時ご覧下さい。
<https://scej-kys.org/kyushu/>

講演会(11月9日(木)10:00~17:00)

支部推薦講演(依頼)
一般講演(募集,締め切り9月29日(金))
一般講演(口頭発表のみ)を募集します。講演のテーマは,「SDGs」,「ものづくり」,「環

境」です。一般講演については,一般会員と学生の区別はありません。

一般講演に応募される場合は,期限までに西浜(北九州市立大学)まで,メールでエントリーをお願いします。要旨などの作成についてお送りします。

E-mail: nishihama@kitakyu-u.ac.jp

見学会(11月10日(金)8:30~16:30)

1. 奄美黒糖焼酎の酒蔵
2. 奄美大島紬村(本場奄美大島紬の生産を見学)
3. あやまる岬展望台(奄美十景の見学)
集合場所(前日に掲示)に集合の後,チャーターバスにて移動します。帰りは奄美空港にて解散します。

参加費(税込み)

会員 15,000円(懇親会費6,000円を含む)
学生会員 5,000円(懇親会費3,000円を含む)
会員外 30,000円(懇親会費10,000円を含む)
参加費は,当日会場受付にて現金でお支払いください。

※参加費に含まれるもの:講演会費,見学会費,バス代,昼食代(講演会,見学会),懇親会費

申込方法

ご氏名,ご勤務先(所属部署),所属学会,連絡先(所在地,TEL,E-mail)をE-mailでお送り下さい。職場や研究室で取り纏めて申し込み頂けると幸いです。定員70名(先着順)です。定員になり次第締め切らせて頂きます。

申込締切 9月29日(金)

申込・問合せ先

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学工学研究院化学工学部門内 化学工学会九州支部
TEL&FAX:092-802-0009
E-mail: kshibu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp
URL: <https://scej-kys.org/kyushu/>

交通・宿泊

飛行機や宿泊の手配等は,一括して旅行会社(南国交通トラベルサービス)に依頼しています。お手配をご希望の方は,所定の申込用紙「航空券・宿泊予約申込書」にご記入の上,お申し込み下さい(申込締切 9月29日(金))。尚,その他ご要望やご質問は,参加者個人にて「奄美大島ワークショップの件」として直接お問い合わせ下さい。(学会での取り纏めは行いませんのでご了承ください。)

交通・宿泊の問合せ先

〒890-0053 鹿児島市中央町18番地1 南国センタービル3F
南国交通トラベルサービス 担当:伊地知
TEL:099-258-3121 FAX:099-813-1025
E-mail: n.kawasaki@nangoku-kotsu.co.jp